

平成 22 年 8 月 20 日 鳥羽伊良湖航路存続発表によせて

「鳥羽～伊良湖航路」が存続される方向となったことは、本市をはじめとする伊勢志摩地域にとって、とても喜ばしいニュースであり、私自身も安堵しているところです。

本航路廃止の知らせがあった 3 月末、伊勢志摩・東三河両地域では、まさに嵐が吹き荒れました。そのような中で、たくさんの存続を求める声とともに、あちこちの団体で自主的な署名活動がはじまり、最終的には両地域で 287,613 人もの航路存続を求める署名が集められました。署名をしていただいた皆様から感謝申し上げます。

これらの声を受け止め、2 県 2 市で支援策を検討すると同時に、現在の伊勢湾フェリー株式会社が、運航事業者として最大限の努力をしていくことで運航継続を決定されたと認識しております。

「雨降って地固まる」という言葉がありますように、伊勢志摩地域と東三河地域の人々の交流が、今まで以上に深まることを望んでいます。

航路存続は大事ですが、これからが本当の意味での存続への道のりであり、今後この航路をいかに地域全体で守り、活用していくかが重要であると同時に、航路の運航を支える国の支援策が実施されることを強く望む次第です。

平成 22 年 8 月 20 日

鳥羽市長 木田久主一